

2020 いちか 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など、課題
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・広々とゆとりの空間が確保されている。活動スペースや余暇スペースを使い分けできるスペースが十分確保されている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			・利用人数に対する職員の配置数は適切である。送迎、活動、記録等の役割分担を行い支援することが出来ている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・玄関先に段差はあるが、危険のないよう言葉がけしながら対応している。トイレには手すりも設置されている。 室内は段差なくバリアフリーとなっている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			・職員会議で業務改善についての意見を出し合い日々の業務を振り返り、PDCAサイクルが行えるよう各職員が努めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・アンケートを実施することにより保護者の意向を把握することができている。職員会議で情報を共有し業務改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・事業所ホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・現在、第三者による外部評価の実施は無いが、外部評価の活用を検討している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・法人全体で毎月職員研修を行っている。 外部研修への参加の機会も確保されている。（今年度は、新型コロナウイルスの影響で外部研修には参加できていない）
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・モニタリングやアセスメントをして子どもや保護者の意向、課題の分析をした上で個別支援会議を行い、職員の意見を取り入れながら作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・標準化された基本情報シートを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・毎月活動内容について話し合いを行い、活動内容に課題や改善する点が無いか各職員の意見を取り入れながら活動計画立案をしている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・同じ活動が重ならないよう日程を調整したり、季節の行事や新しい内容の活動を取り入れ活動内容が固定化しないよう工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・休日や長期休暇期間には、午前と午後の活動を計画し取り組んでいる。また、平日にできない外出、野外活動等を取り入れて支援している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・個別活動と集団活動を行いながら、子どもの課題を見つけ職員間で話し合い計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・午前と午後の送り時に、利用児童についての支援内容と役割分担についての確認を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・終礼時に送りを行っている。その日に送迎が出来なかった場合は翌日に送迎ができるよう記録して情報共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・正しく記録が取るよう意識し、毎日個別支援記録を記録している。記録の取り方についての研修を受け、改善できる点は改善している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・3か月～6か月ごとにモニタリングを行い、個別支援会議で内容を検討、見直しをしている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			・日々の活動や集団活動の中で、日常生活の充実に向けた活動や創作活動、余暇の提供を行っている。近隣住民の方々に挨拶する機会もあり社会経験が図れている。
関	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・定期的に行われる会議に管理者が参加している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			・送迎時の情報共有や電話連絡をとり、連絡調整を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		・現在、医療的ケアが必要な児童の利用がないが、今後利用がある場合は連絡体制を取れるようにしていく。

2020 いちか 放課後等デイサービス自己評価表

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		・保育所等に問い合わせをしたり出向いて担当保育士と情報共有している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	・現在、対象児童がいないため情報の提供を行っていないが、今後情報提供できるよう記録等、保管している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・児童発達支援センター等の専門機関に問い合わせし助言を受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	・現児童館を利用させてもらうことはあるが、障害のない子どもと活動する機会が持てていない。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	○		・管理者が参加し、職員に伝達している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・連絡帳や送迎時に状況を伝え合うことや、個人面談を行い、共通理解を行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		・保護者の方からの思いを受け止めながら相談に対して助言をし、出来る範囲で支援している。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・契約時に書面に添って丁寧に説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・相談時には状況をしっかり聞かせてもらい日々の子どもの様子を伝えながら、必要な助言と支援に努めている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		・毎年1度、保護者会を開催し保護者同士の連携を図れているが、今年度は新型コロナウイルス感染予防対策のため中止している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・苦情対応窓口を設け、適切に対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・定期的にいちか通信を発行し、保護者に配布している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		・書類を書庫に収納し施錠し、データの持ち出しを禁止し個人情報の扱いについて徹底している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・丁寧にわかりやすい説明や、書面を手渡するなど配慮している。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っているか	○		・近隣住民に事業所や子ども達の事を知らせてもらうことが出来ているが、行事に招待する等できていないため、今後検討していく必要がある。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		・各対応マニュアルは事業所内に掲示し保護者、職員に周知している。契約時にも説明を行い、感染症については時期毎にお知らせを配布している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・年4回(避難、防災、防犯、総合訓練)を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・定期的に虐待防止研修を行い、年2回セルフチェックを行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		・現在対象児童はいないが、身体拘束を行う場合は、組織的に決定する重要性を理解し、子どもや保護者に事前に十分な説明を行い同意を得た上で個別支援計画に記載する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・現在、強いアレルギーを持つ児童がいないが、一覧表を作成し職員間で共有している。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・今日の出来事としてヒヤリハットを作成している。職員間で話し合い今後の対応につなげている。	